様式2

都市再生整備計画　事後評価シート（原案）

荒井東地区

令和7年10月

宮城県仙台市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	宮城県	市町村名	仙台市	地区名	荒井東地区			面積	34ha
計画期間	平成28年度～令和7年度	事後評価実施時期	令和7年度	交付対象事業費	—	国費率	—		

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	荒井東土地区画整理事業、荒井東1号公園整備事業
	提案事業	荒井東1号公園運動施設整備事業、荒井東1号公園運営管理事業、パークアンドライド駐車場運営事業、荒井東復興公営住宅エネルギーマネジメント事業、PRイベント事業、マルシェ運営事業、不動産事業、ライブホール整備事業

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	—		
	提案事業	—		
新たに追加した事業	基幹事業	—		
	提案事業	エリアマネジメント広告事業（社会実験）	広告看板を用いて地域情報・施設情報の発信、広告協賛によって生じた収益を地域住民の利便増進とまちのイメージアップに繋げるため。	なし

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
	当　初	—	—
	変　更	—	

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	イベント参加人数	人／年	5,000人／年	H28	10,000人／年	R7	—	10,461人／年	○	あり／なし	土地利用が進み居住人口が増えたこと、イベントの認知度向上もあり、目標達成に繋がったものと考えられる。	—
指標2	居住者満足度	点	62/100点	H28	70/100点	R7	—	74.5/100点	○	あり／なし	運動施設の整備など多様な土地利用が進んだこと、定期開催イベントの定着化も目標達成に繋がったものと考えられる。	—
指標3	—									あり／なし		
指標4	—									あり／なし		
指標5	—									あり／なし		

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	—											
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

4）定性的な効果発現状況

—

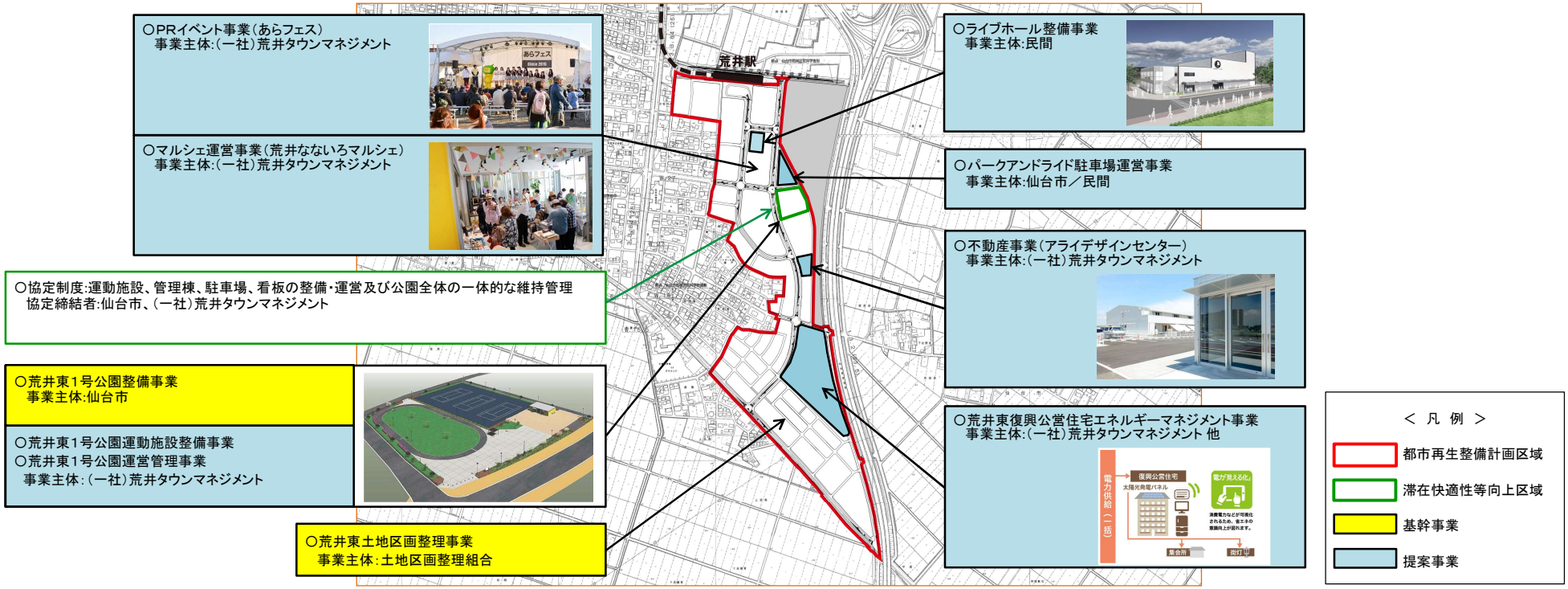
5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	—	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
官民連携による取組	仙台市交通局及び荒井タウンマネジメントによる地下鉄東西線開業と荒井東地区街開きを記念したイベント「あらフェス」を開催する。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	○	引き続き、官民連携による賑わい創出に係るイベント開催に向けて事業者等を支援していく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	荒井タウンマネジメントによるまちづくり活動の促進を行う。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	○	将来的にも荒井東地区においてまちづくり活動が継続されるように、新たな担い手の育成等を実施していく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

荒井東地区（宮城県仙台市）　都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
【大目標】 暮らす楽しさ、訪れる楽しさを持った、仙台東部地域の中心となるまちづくり	イベント参加人数	単位：人／年	5,000人／年	H28	10,000人／年	R7	10,461人／年	R7
	居住者満足度	単位：点	62／100点	H28	70／100点	R7	74.5／100点	R7
＜目標1＞仙台東部地域の中心となる新しい街の形成と交流や賑わいの創出		単位：		H		R		R
＜目標2＞エリアマネジメントによる、まちの環境や価値の維持向上		単位：		H		R		R
		単位：		H		R		R



まちの課題の変化	・様々なイベントや事業を通じて、魅力ある交流や賑わい空間の創出が図られた。また、運動施設の整備、管理運営を通して、民間活力を活かしたエリアマネジメントとして持続的なまちづくりが実現された。 ・仙台東部地域においては、集団移転跡地の整備等が進み、地域住民から来訪者まで、多様な人々が行き交う仙台東部の玄関口として、さらなる魅力ある交流や賑わいの創出が求められる。 ・地元の要望に応える形で整備された荒井東1号公園については、地域の憩いや交流の場としての機能を高めるため、公民連携による持続的なパークマネジメントの推進が求められる。 ・新たなまちの形成が進み、居住者や企業が増加する中で、住民や事業者のニーズを的確に把握するとともに、まちづくりを担う新たな人材の発掘・育成を進めていくことが必要である。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・引き続きイベントの開催等を通じて、地区内居住者や地下鉄東西線の利用者など、多様な主体による交流・賑わいの創出を図る。 ・公民連携によるパークマネジメントを推進し、魅力ある空間の維持・向上を図る。 ・住民や企業が活躍できる場を創出するとともに、まちづくりの担い手の発掘・育成を進め、地域のニーズに即したエリアマネジメントを推進する。